

# 7-6

演題	安心して過ごしやすいデイサービスの環境作り
副題	～コロナ禍での認知症高齢者への環境支援～

PEAP
------

法人名	社会福祉法人 聖テレジア会
施設名	聖テレジア在宅ケアセンター大船 デイサービス台

発表者名 (職種)	好井 承平 その他	都道府県	神奈川県
共同発表者		住所	鎌倉市台 2-8-1
共同発表者		TEL	0467-46-5700
共同発表者		FAX	0467-46-7792
共同発表者		メールアドレス	ds.dai@seiterejiakai.com
共同発表者		URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	日常生活の自立を目指した支援 サービス提供時間 9時40分～16時45分 利用定員 30名/日 サービス内容 食事・入浴・排泄等の日常生活動作の援助、自立支援 リハビリ・口腔機能訓練・選択式グループ活動・個別機能訓練
---------------------------	---

## 研究の目的、PRポイント

感染対策をしながらも、ご利用者の心身に寄り添える様な環境作りをしていく事で職員の意識の向上、ケア全体の質の向上へと繋がった。

## 取り組んだ課題

環境改善への取り組みをしている中で、コロナウィルス感染症の拡大にともないデイ内の感染症対策への取り組みが最重要。

コロナウィルスの拡大は長期化しご利用者、職員の日常生活は、緊張や不安が続いていました。

- ・感染予防のため設置したパーティション(アクリル板)がご利用者同士の会話がしにくい状況を作っていた。
- ・感染予防のため空間の確保をした事で乱雑な印象の配置と情報の伝えにくい環境となっていた。

## 具体的な取り組み

期間：令和3年6月～令和3年11月

- ・2名の担当職員を配置、キャプション評価を実施。環境の課題を写真を添付し抽出。
- ・出来る所から少しずつご利用者の方の意見も参考にしながら、物品の発注、取り付け、制作へ取り組む。

## 活動の成果と評価

(感染予防対策を含めた)環境作りをしたことで一日のスケジュールやイベント、導線の情報が伝えやすく、伝わりやすい環境となった。

取り組み後にアンケート(匿名)を実施、64名へ配布し40名からの返事をいただき、デイサービスの雰囲気や様子をご家族へ伝えるよい機会となった。

アンケート結果

- ・変わらないとの返答が3%の方から聞かれましたがその他の97%の方からとても良い。良い。との回答を頂いた。内訳は下記参照。  
ご利用者・ご家族  
リハビリ室の雰囲気(とても良い56% 良い41%  
変わらない3%)  
整容室の使いやすさ(とても良い61% 良い36%

変わらない3%)

予定表の見やすさ(とても良い58% 良い42%

変わらない0%)

デイルームの雰囲気(とても良い56% 良い41%

変わらない3%)

職員

リハビリ室の雰囲気(とても良い62% 良い38%

変わらない0%)

整容室の使いやすさ(とても良い46% 良い54%

変わらない0%)

予定表の見やすさ(とても良い77% 良い23%

変わらない0%)

デイルームの雰囲気(とても良い69% 良い31%

変わらない0%)

- ・見学時は病院っぽい感じがしたが温かみのある空間だったとの感想。

- ・細かい装飾が多いように・・・お掃除が大変では・・・?との感想。

→衛生面の心配の声があり感染予防と共に清潔保持にも配慮をしている。

- ・アンケートにより感想やご意見、ご提案を頂いたことで意識と意欲の向上へ繋がった。

## 今後の課題

感染予防に努めながら過ごしやすい環境作りする事により、自立支援や自己選択の機会、活動への参加促進へ繋げる。

テレビ下の棚の利用法の検討、図書コーナーの充実、ウエルカムボードの活用について等アンケートの結果から出てきた新たな課題へ一つずつ取り組んで行く。

## 参考資料など

認知症高齢者への環境支援指針(PEAP)